

第1回休眠預金等活用審議会概要

※ 本概要は事務局により整理したもの
休眠預金等活用担当室

日時：平成29年5月22日（月）16:30～17:45

場所：官邸4階大会議室

概要：

<議事1 休眠預金等活用審議会の運営について>

会長に小宮山宏委員を選出、会長代理に程近智委員を指名した。審議会の運営規則、審議参加規程を決定した。

<議事2 基本方針策定までの審議スケジュールについて>

基本方針策定までのスケジュールを確認した。

<議事3 基本方針策定に向けた主要論点についての意見交換>

基本方針策定に向けた主要論点案につき小宮山委員から提案があり、それに沿って意見交換を経た上での主な共通認識

- 人材育成や組織基盤強化の支援（経営支援、伴走支援）が必要。
- イノベーション創出や透明性確保のため、国民に開かれたシステムを構築すべき。
- イノベーションを起こすことと、リスクやリターンを預金者の預金という休眠預金の性質を踏まえつつどうバランスさせるかが課題。
- 透明性確保を前提に過度に管理的・統制的になるのではなく、現場が使いやすいよう資金分配団体・現場団体との相互主体的な関係を構築すべき。
- プロセス管理ではなく、どのような成果を生んだのかという成果志向の観点で資金供給を行うべき。また、経済的のみならず社会的成果を評価すべき。
- 休眠預金の活用に当たっては管理費も含めたフルコストリカバリーの観点が重要。
- 中長期的な休眠預金の発生動向も踏まえて資金活用を考えるべき。

<議事4 ヒアリングの実施について>

社会的課題の解決に取り組む現場の団体や有識者など幅広い主体から、7～8月頃に集中的にヒアリングを実施することを決定。